

「あきる野市特定教育・保育施設の利用定員について」に関する質問等及びそれに対する市の回答

| No. | 委員からの質問等  | 市の回答   | 担当課 |
|-----|---|--|-----|
| 1   | <p>秋川幼稚園は預かり保育は行っているのでしょうか。もし預かり保育を行っていて、無償化の対象（新2号）となっていた場合、あきる野市子ども・子育て支援総合計画の数値に変更が生じることはないでしょうか。</p>  | <p>秋川幼稚園では預かり保育を実施しており、この預かり保育は無償化の対象（新2号）となっております。</p> <p>この預かり保育は、あきる野市子ども・子育て支援総合計画（令和2年度～令和6年度）において、66頁の（8）一時預かり事業■「量の見込み」に対する「確保の内容」及び「実施時期」の計画値に含まれております。</p> <p>このため、秋川幼稚園の新制度移行に伴い、計画値に変更が生じることはありません。</p> | 保育課 |
| 2   | <p>少子高齢化・母親の労働人口増加などで在宅保育が難しい状況下、保育料無償化と相まって保育施設を利用する保護者が増加の一途であることは言うまでもない。</p> <p>0～2歳児の保育施設利用率が上昇する一方で、教育施設・保育施設での3～5歳児の利用率は減少傾向にあることを踏まえれば、教育施設を利用する1号認定児の定員を減ずることは現状に即していると考えられる。</p> <p>1号認定の幼稚園・認定こども園全体を見ると、令和3年以降も確保の内容が量の見込みを100人以上上回る状況であるため、秋川幼稚園の利用定員を60人減じて80人とすることは現時点では妥当であると思われる。</p> <p>秋川幼稚園の認可定員は現在140人であるが、令和3年の園児募集人数は60人強である。</p> <p>秋川幼稚園がプレクラス・未就園児サークル・預かり保育・学童保育・課外教室などの事業も行なっていることを鑑みると、幼児期の教育を担う事業者としての一定の努力は見受けられる。</p> <p>しかし、利用者が秋川幼稚園を選ばないために利用者数が年々減少していく状況については、少子化以外の原因・理由の仔細な検討、適切な対策と早急な対処が望まれる。</p> <p>長きに渡りあきる野市の幼児教育の一翼を担ってきた秋川幼稚園の今後のさらなる健闘を期待する。</p> |  |     |